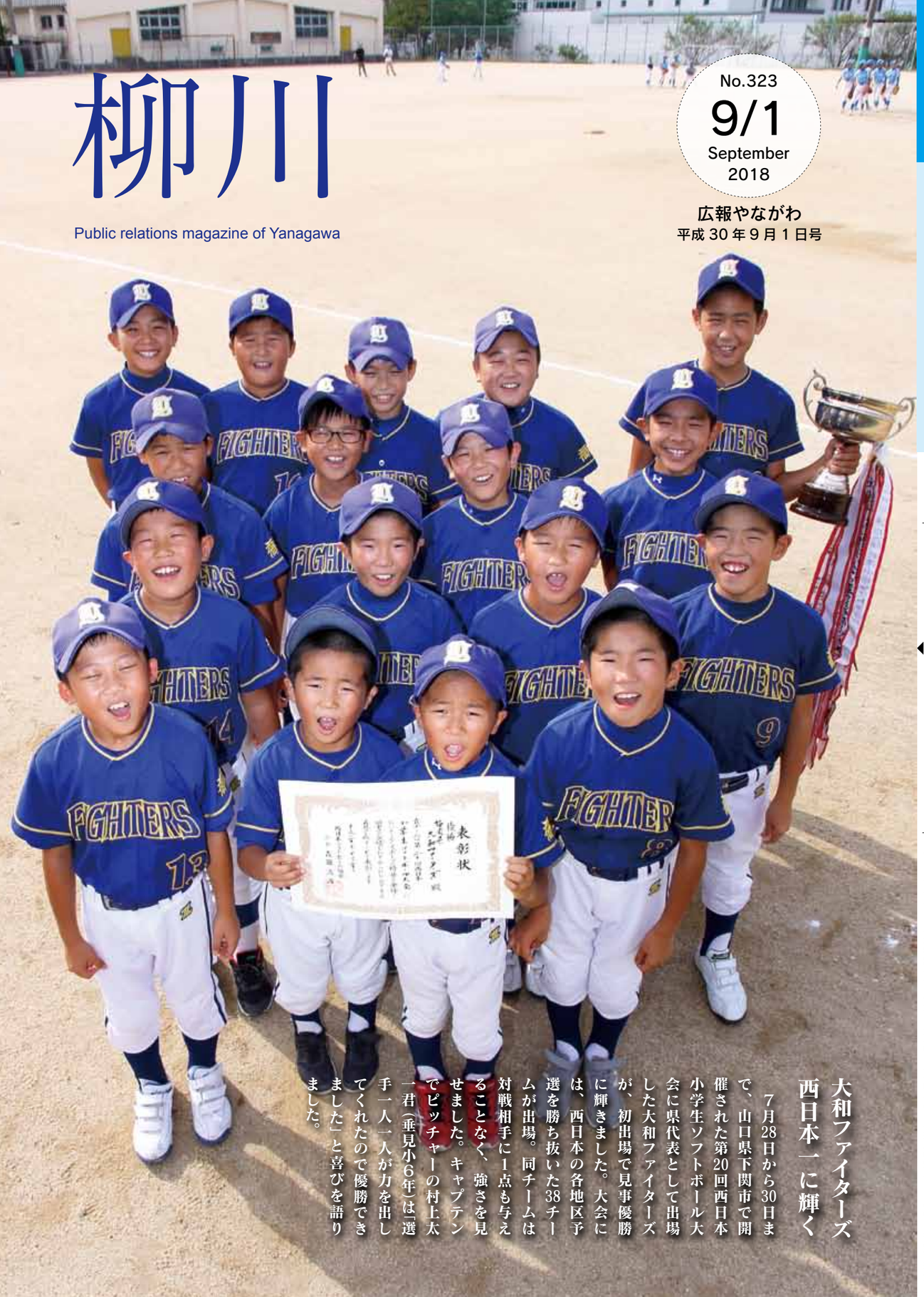
広報やながわ
No.323　平成30年9月1日号

柳川

Public relations magazine of Yanagawa

No.323
9/1
September
2018

広報やながわ
平成30年9月1日号



大和ファイターズ 西日本一に輝く

7月28日から30日まで、山口県下関市で開催された第20回西日本小学生ソフトボール大会に県代表として出場した大和ファイターズが、初出場で見事優勝に輝きました。大会には、西日本の各地区予選を勝ち抜いた38チームが出場。同チームは対戦相手に1点も与えることなく、強さを見せました。キャプテンでピッチャーの村上太一君（垂見小6年）は「選手一人一人が力を出してくれたので優勝できました」と喜びを語りました。

●発行　柳川市／〒832-8601 福岡県柳川市本町87-1 ☎0944-73-8111
●編集　総務部企画課広報広聴係（直通）☎0944-77-8425 FAX74-5520
●URL http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/ ●e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp
●フェイスブック「ふるさと柳川 でも情報発信中 ※この広報紙は市公式サイトで公開しています。

首訳ボランティア「オルゴール」の協力で、広報紙を音訳してCDやカセットテープに録音した「声の広報」も発行しています。詳しくは、市企画課広報広聴係（☎77-8425）まで。

市内の元気企業紹介コラム
柳川企業物語
No.18

大坪GSI株式会社

～社員を大切にしながら 循環型社会の構築を目指す～

1 石膏ボードをリサイクルして農業用の土壌改良材を製造している三橋工場（五拾町）2 国道208号線沿いにある本社社屋 3 今年7月に3代目社長に就任した大坪尚宏さん 4 廃ガラスを再利用して作った人工軽石（発泡ガラス）。土木資材をはじめ水質浄化材、踏むと大きな音を立てるので防犯砂利としても利用されている

【企業情報】
●本社所在地
＝大和町徳益416
☎74・6811
●資本金
＝3500万円
●代表取締役
＝大坪尚宏
●従業員＝54人

今回紹介する企業は、砕石や産業廃棄物の中間処理、リサイクル業などを手掛ける大坪GSI株式会社です。

昭和41年にダンプトラック運送事業を柱にした「大坪商店」を、3代目となる現在の社長、大坪尚宏（たかひろ）さん（50歳）の父、大坪早実（はやみ）さんが創業。その後、山川町（現みやま市）で砕石事業を開始し、株式会社大坪砕石設立。平成23年に社名を大坪GSI株式会社に変更しました。社名に付く「GSI」の「G」はグリーン、「S」はシルバー、「I」はインダストリー（産業）の略。環境社会と少子高齢化社会において、適切に対応できる会社であり続けたいという思いが込められています。

2代目となる大坪隆治（たかはる）社長は筑後地区でいち早く、工事現場から出される産業廃棄物のリサイクル事業に着手。現在では、市内外にある4つの工場でコンクリートやアスファルトをはじめとするさまざまな廃棄物の再利用を積極的に進めています。また、廃ガラスから土木資材や水の浄化材として利用できる人工軽石も製造。さらに、建築で使われる石膏ボードを再利用した土壌改良材の開発など、常に顧客の声を聞きながら開発されるリサイクル製品は年を追うごとに増えています。

同社では、65歳で定年後、80歳まで継続勤務できる関連会社を設立し、技術の継承とともに従業員が安心して働ける体制を構築しています。さらに、県に「子育て応援宣言企業」として登録し、子育て世代、特に女性にとって働きやすい職場づくりを目指していることも特徴です。社員や家族を大切にしながら、顧客のニーズに着目し、それを解決するために知恵を絞り、そこにビジネスチャンスを見つけ出していく「創造型事業」に果敢に取り組んでいます。

●社長のひとこと

弊社の経営理念は「持続可能な会社を通して従業員の幸福を追求するとともに、百年先から見た今の会社が世のため、人のため、地域のため、どのような貢献ができるかを希求する会社を目指す」です。お世話になっている地域社会や関わる全ての人たちが幸せになれるような会社であり続けるよう、頑張っていきたい。

【問】市商工・ブランド振興課商工・企業誘致推進係（☎77・8762）